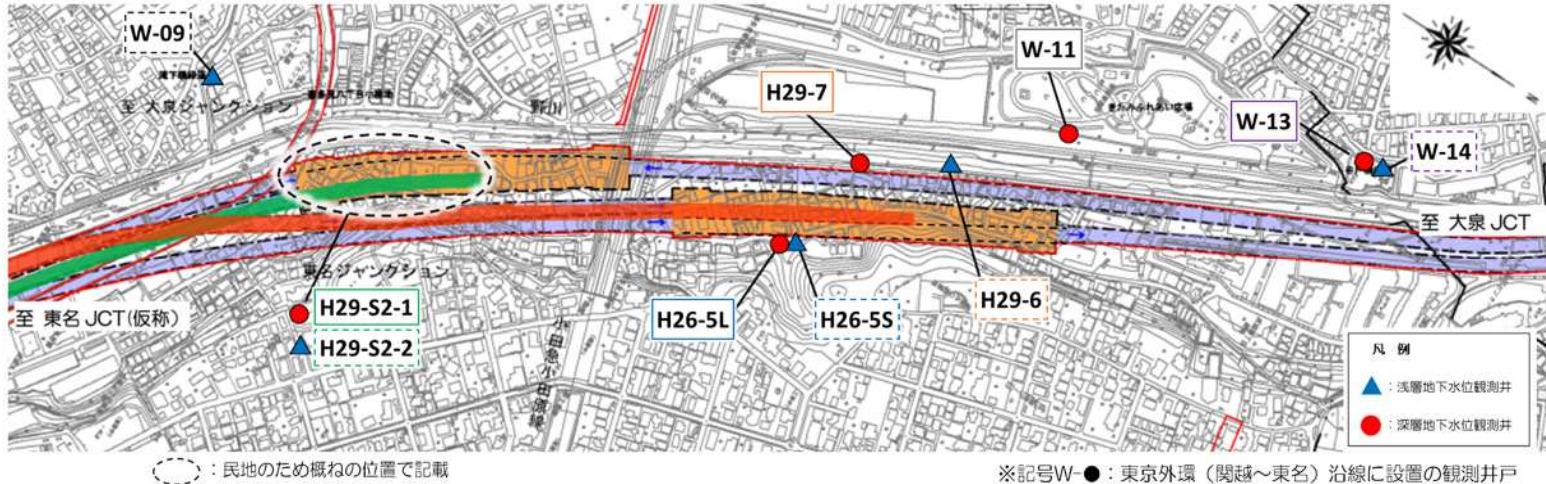
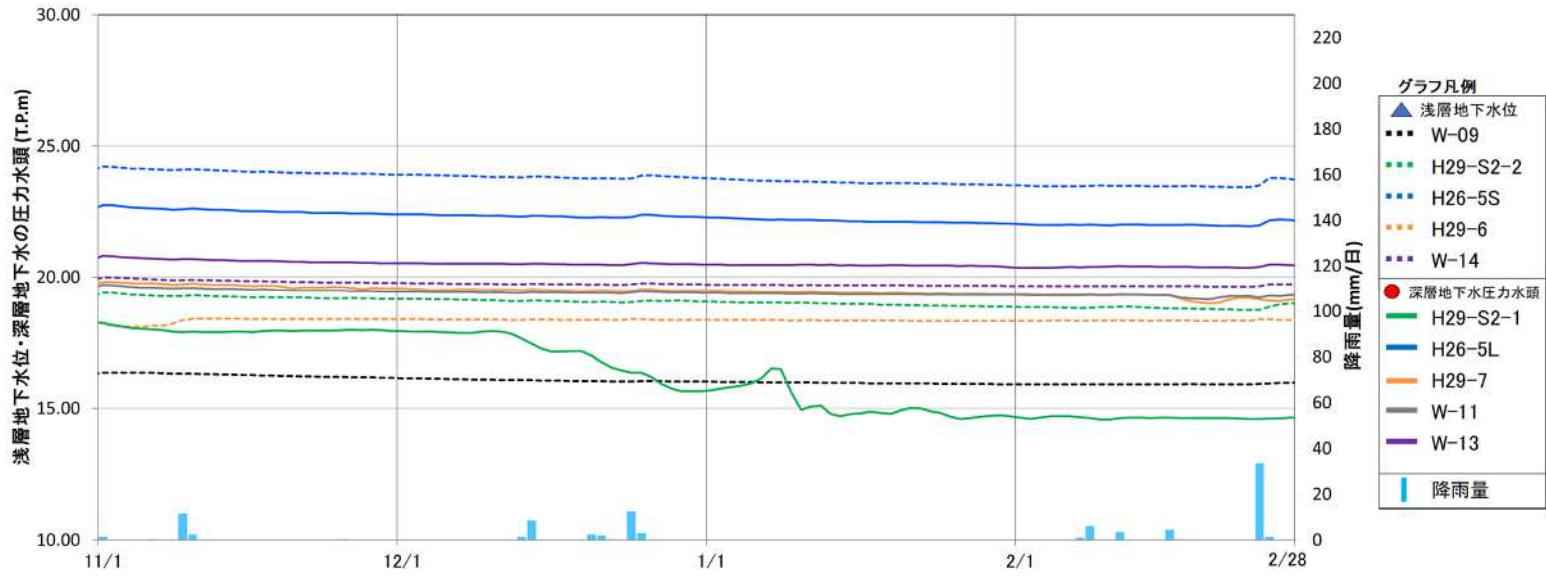


地下水位モニタリング結果について(令和7年11月～令和8年2月分)

- 東名JCT地中拡幅(北行・南行)工事による地下水への影響を確認するため、定期的に地下水位のモニタリングを実施しております。
- 地中拡幅(北行)工事では、H29-7(深層地下水)及びW-11(深層地下水)において、湧水が地下水に与える影響を確認する目的で実施した湧水調査の影響とみられる圧力水頭の低下が確認されましたが、湧水調査終了後には復水したことを確認しています。また、浅層地下水への影響は確認されておりません。
- 地中拡幅(南行)工事では、H29-S2-1(深層地下水)において、湧水量調査での排水の影響と考えられる圧力水頭の低下が確認されましたが、浅層地下水への影響は確認されておりません。現在パイプルーフ工の発進基地掘削を実施中ですが、H29-S2-1における圧力水頭は定常状態であると考えられます。
- 全体的な浅層地下水位及び深層地下水圧力水頭の低下は、無降雨による影響と考えられます。また、降雨により浅層地下水位及び深層地下水位に変動がみられます。



東名JCT部における地下水位観測井 位置図



東名JCT部における地下水位計測結果